

2021 年度 研究所活動報告

研究会

「未来を創る「主体的な学び」を実践する～Future Skills Project 研究会の挑戦～」

2021年6月18日、一般社団法人Future Skills Project 事務局長の平山恭子氏をお招きして、オンライン研究会を開催いたしました。

同団体では、学生の主体性を引き出すため、10年にわたり企業と大学による産学連携の課題解決型のキャリア教育を実施しており、授業・講座への参加を通じて、学生の大学における学びへの意欲や取り組み方が大きく変わることをご紹介いただきました。

教職員との質疑応答も活発に行われ、教育のあり方を考える貴重な機会となりました。

研究会

「ダイバーシティ経営の効果を高める人事管理制度」

2021年9月16日、法政大学キャリアデザイン学部の武石恵美子教授をお招きして、オンライン研究会を開催しました。

企業でダイバーシティ経営が推進されるなか、職場に与える影響、従業員自律型のキャリア支援の仕組みなどについて、最近実施された2つのアンケート調査の分析結果をご紹介いただきました。

質疑応答では日本型人事制度との関連なども議論され、多くの参加者と活発な意見交換が行われました。

研究会

「ハローワークから見た女性の中途採用について ～マザーズハローワークおよび人材確保対策事業の取組～」

2021年10月29日、東京労働局職業安定部職業安定課の鈴木玲子氏をお招きしてオンライン研究会を開催いたしました。コロナ禍の影響を受けた昨年から今年にかけての雇用情勢の変化や、女性の中途採用に見られる特徴に関してデータを用いたお話をいただき、さらに人材確保支援対策事業の取組等についてもお話いただきました。

また、池袋ハローワークの小泉統括及び田中事務官のご登壇もいただき、池袋ハローワーク内のマザーズコーナーにおける職業相談状況や、事例のご紹介、オンライン化の取組等についてご説明をいただきました。

参加者との活発な意見交換も行われ、特に、様々な工夫された取組が今後普及啓発を通じ広まることが望まれるといった声が多くあがりました。

研究会

「平塚らいてうのまなざし」

2021年11月19日、本学名誉教授の倉田宏子先生をお招きしてオンライン研究会を開催いたしました。本学卒業生である平塚らいてうの軌跡をたどった後に、女性による初の文芸雑誌『青鞥』とその主張、成瀬仁蔵先生から受けた影響、母性保護論争や「新婦人協会」運動、戦後の平和運動に至るまで、らいてうの生涯にわたる思想と運動についてお話をいただきました。参加者との質疑応答では多くの意見や質問が寄せられ、活発な議論が交わされました。

研究会

「リカレント教育の現状」

2022年2月28日、リカレント教育研究家の乾喜一郎先生をお招きしてオンライン研究会を開催いたしました。社会人において、自発的学習者が少ない実態や、裾野を広げていくための実践的な事例を含めた取り組み等について、ご講義いただきました。また、昨今、注目されているリカレント教育やリスクリングの定義等についてもご説明いただきました。限られた時間ではありましたが、参加者からの質疑応答も活発になされ、リカレント教育の今後のあり方に関する議論が展開されました。

ワークショップ

社会調査に役立つ統計分析：SPSS ワークショップ

現代女性キャリア研究所では、2012年から2019年まで、毎年学内の学生・教職員を対象として「社会調査に役立つ統計分析：SPSS ワークショップ」を開催していましたが、残念ながら昨年度及び一昨年度はコロナ禍により開催を見送りました。2021年度は、参加可能人数を減らしたり、間仕切り（パーティション）を設置するなど、対策を十分に取しながら、メディアセンターのご協力も得て、開催いたしました。

講師を務めていただいているニッセイ基礎研究所の金明中先生には、SPSS基本操作からデータの加工などの基礎知識、統計分析の理解からクロス集計、回帰分析など基礎編と応用編を計4日（2022年3月7日（月）、8日（火）の基礎編と9日（水）、10日（木）の応用編）にわたって実践的学習を含んだ講義をいただきました。参加後のアンケートの満足度も高く、2021年度も大変好評なワークショップとなりました。

